

# 続・奇跡はある

(19)

題字・林田八郎

徳永 耕一

## 課題②

### 〈温泉〉

ホテル業に進出したときに固く決めたことは、「当社は経験もノウハウもないので、ビジネスホテルに徹する」ということだった。その後二十年間、それを守って今日に至っている。しかし、気がついてみると、浜観ホテルをはじめ、雲仙荘、花みずき、もとの湯、そして島原ステーションホテルと、合計五つのホテルや施設が源泉付き、もしくは温泉権付きである。

せっかくの高付加価値で貴重な経営資源なので、これらの活用方法を勉強して、会社の業績向上や地域の活性化に生かさなければいけない。

### 〈太陽光発電〉

太陽光発電事業は、最近すっかり存在感が薄れている。やはり、全量買取制度や即時償却制度がなくなったことが大きい。その一方で、脱炭素や原油高などを背景に、再び原発が勢いを盛り返してきた。

当社も、大きな売電収入(年間一億二千万円)に安住して、以前のような脱原発の情熱を失くしているが、世界が理不尽なロシアのウクライナ侵略などで安全を脅かされている今、再び脱原発と太陽光発電に目を向けなければと考えている。

電気代が高騰している状況なので、ホテルの自家消費用の太陽光発電設備は有力ではないだろうか。また、来年予定の建売においても、太陽光発電を取り入れるべきではないだろう。



## Jisco Group

ジスコ不動産株式会社  
ジスコホテル株式会社  
ジスコ子ども支援株式会社

長崎県諫早市永昌町4-26  
| TEL | 0957-27-1112 | FAX | 0957-26-1777

### うか。

#### 〈就労支援会社とのコラボ〉

「人手不足」の問題は、特にホテル業で深刻さを増してきた。そのような中、必要に迫られてではあるが、ハンデのある方々との連携を模索し始めた。

九月一日リ・オープンした島原のホテル「花みずき」では、リネン業者が見つからず、思い余って就労支援会社に相談したところ、快く引き受けていただいた。今、洗濯を主とする作業を始めている。また、ホテルプレミアでは客室の浴槽の清掃などを、就労支援会社と共同でテスト中である。

もし、これらの仕事がお互いにフィットしたら、私たちがハンデのある方々も、どちらもウィンウィンの新しい世界が開ける。

#### 〈建売業〉

振り返れば、一九九五年から輸入住宅を手がけて、当時は「県内初の直輸入住宅」とマスコミでも取り上げられ前途有望と思われたが、その後まもなくして円高が始まり、どの住宅会社も輸入住宅を手がけ始めた。

差別化ができなくなり、営業力も十分ではない当社は、早々に輸入住宅から手を引いた。それ以来、自社所有のアパートだけは細々とツーバイフォー工法にこだわって建てているが、一般住宅を建てることはなかった。

この度、一流の住宅会社数社から協力が得られることになったので、再びツーバイフォー工法を中心とする建て売りを始めたいと考えている。

#### 〈大型プロジェクト〉

現在進行形の大型プロジェクトが複数ある。いずれも、当社の収益構造に大きな影響を及ぼすビッグプロジェクトだが、年内には去就がハッキリする予定だ。

これに期待しながら、残り一ヶ月あまり、全力で頑張りたいと思う。

〈次回11月21日掲載予定〉